

まちづくり市民会議の開催について

1 趣旨

令和 8 年度を始期とする次期総合計画を策定するため、「無作為に選ばれた市民」及び「中学生」により市政等における課題及びその解決策について検討し、提言を行うもの。

2 テーマ及び進め方

これまで市民アンケートや地区別懇談会の実施などにより、市民のニーズや意見を聴取してきたところ、現在の総合計画の検証で挙げられた課題なども踏まえた上で、「鴨川市の今後のまちづくりについて」をテーマとして、市民の目線から、財政的に厳しい中で優先して取り組むべき課題は何か、その課題に対して市または市民が何をすべきかなどについて、検討、協議をする。

3 対象者と開催回数

(1) 対象者

ア 市民 30 人（無作為抽出により選ばれた市民（16 歳以上の男女）のうち参加を希望する者）

イ 各中学校から推薦された生徒 10 人程度

(2) 無作為抽出の条件

年齢層を 4 区分して抽出。計 1,200 人

第 1 階層／16 歳～34 歳 350 人 第 2 階層／35 歳～49 歳 350 人

第 3 階層／50 歳～64 歳 250 人 第 4 階層／65 歳～ 250 人

※令和 2 年国勢調査の年齢構成比を基に第 1 階層、第 2 階層に傾斜配分

※応募率 2.5%を想定 82/3,000 人：応募率 2.7%（令和元年度住民協議会）

25/1,200 人：応募率 2.0%（小湊 100 人会議）

(3) 中学生選出方法

各中学校に依頼し、それぞれ 3～4 人の生徒を推薦してもらう。

4 会議の運営

(1) 開催日時 令和 7 年 7 月～8 月頃 土曜日又は日曜日

3 回開催予定 各 2 時間程度

(2) 会場 鴨川市役所等

(3) 進行

ア 8 人×5 グループによるワークショップ形式

イ ファシリテーター及びアドバイザー（各グループ 1 名ずつ）を配置

ウ 今後のまちづくりにおける市民目線からの重点課題やその対策等について、協議した結果を報告する。